

就労支援サービス論

科目コード

CM4076



単位数	履修方法	配当年次	担当教員
1	S(講義)	3年以上	金子 光宏

※2019年度より担当教員が変更になりました。

※オンデマンド・スクーリングは別教員（三浦剛先生）が担当いたします。

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

「働く」ことは金銭を得るだけではない重要な意味を持っています。しかし、この「働く」を実現することが難しい状況におかれている人たちがいます。就労は、障害者や低所得者、若年者、女性、高齢者など、さまざまな状況にある人たちの横断的な課題となっています。就労支援サービス論は、こうした個々の状況にある人たちへの支援を、就労という視点からまとめたものです。

そこで本講では「働く」ことをめぐってどのような問題が生じているのかを学び、どのような課題解決の方法があるのかを、社会福祉の枠組みから考えていきます。就労支援サービスは経済状況に大きく影響を受ける領域です。関連する労働施策を理解し、社会情勢に関心を持つことも重要です。

労働問題は、これから就職するみなさん、あるいは働きながら学んでいるみなさんにとっても身近なテーマです。自らの問題として捉え、その意味を深めていく姿勢も合わせて学んでください。

■到達目標

- 1) 社会福祉における就労支援の意味が説明できる。
- 2) 労働施策と就労支援制度の内容が説明できる。
- 3) 労働者の権利を保障する法制度が説明できる。
- 4) 障害者や低所得者への就労支援の方法が説明できる。
- 5) 専門知識をもってソーシャルワークの視点から就労支援を実践的に考えることができる。

■教科書

福祉臨床シリーズ編集委員会 編『就労支援サービス〈第4版〉社会福祉士シリーズ18』弘文堂、2020年

(最近の教科書変更時期) 2021年4月

(スクーリング時の教科書) 上記教科書を使用します。旧教科書を所持している場合も受講に支障がないよう、資料を配付します。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」「アセスメント力」「問題解決力」を身につけてほしい。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	労働の意義と就労支援	働くことの意味を理解し、就労支援における社会福祉実践の意味を考える
2	現代の労働を取り巻く状況	労働市場の動向を知り、労働者のおかれている実情を理解する
3	労働に関する法制度	労働関連法規を学び、社会参加の観点から労働環境の現状を理解する
4	障害がある人を対象とした雇用施策	労働施策における障害者雇用支援の現状と課題を理解する
5	障害がある人を対象とした就労支援	障害者福祉施策における就労支援の現状と課題を理解する
6	低所得者を対象とした就労支援	低所得者、生活困窮者を対象とした就労支援の現状と課題を理解する
7	就労支援におけるケアマネジメントおよび連携、ネットワーク形成の方法	ケアマネジメント過程における社会資源開発に焦点をあてて就労支援の方法を理解する
8	まとめ	
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

配付資料を中心に講義を進めます。教科書も適宜使用します。

■スクーリング評価の基準

スクーリング試験100%（自筆のノート・プリントのみ持込可）

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

雇用情勢や社会の動きに関心を持ち、「働く」ことに関わるニュースや記事などの理解に努めましょう。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

就労支援におけるソーシャルワーク（社会福祉実践）の意味が説明できるように、振り返っておきましょう。障害者や低所得者に対する支援制度、生活保護法、生活困窮者自立支援法なども確認してください。